

---

◎報告第 1 号 専決処分の報告について

○議長（山本浩平君） 日程第 7、報告第 1 号 専決処分の報告についてを議題に供します。

提出者からの説明を求めます。

安達財政担当課長。

○総合行政局財政担当課長（安達義孝君） 報告第 1 号 専決処分の報告について。

地方自治法第 180 条第 1 項の規定により、議会において指定されている下記事項について別紙のとおり専決処分したので同条第 2 項の規定により報告する。

平成 26 年 7 月 23 日提出。白老町長。

次のページをお開きください。専決処分書、地方交付基準法第 180 条第 1 項の規定に基づき白老町議会会議条例第 8 条の規定により町長において専決処分することができる事項について次のとおり専決処分する。

平成 26 年 7 月 7 日専決。白老町長。

平成 26 年度白老町一般会計補正予算（第 3 号）。平成 26 年度白老町の一般会計補正予算（第 3 号）は次に定めるところによる。

（歳入歳出予算補正）

第 1 条 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 77 万 7,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 100 億 7,506 万 5,000 円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

次の 4 ページ、5 ページの「第 1 表 歳入歳出予算補正」につきましては記載のとおりでございますので省略させていただきます。

次に 6 ページ、7 ページ歳入歳出事項別明細書の歳出のほうから説明申し上げます。ページ数 8 ページでございます。

歳出、9 款消防費、1 項 4 目災害対策費、災害対策経費 77 万 7,000 円の補正でございます。今回の補正につきましては 6 月 11 日から 13 日の長雨によってポロト湖の水位上昇により若草地区の住宅街の一部道路が冠水されたことによって水中ポンプを使って排水作業を行いました。また一部石山地区アメリカンハウス地域で裏の原野のほうから水が流れ込み、そこは土嚢を積み上げた業務委託料でございます。この財源につきましては全額一般財源でございます。

歳入でございます。6 ページ、7 ページでございます。今回 77 万 7,000 円につきましては繰越金、留保財源としてとっている財源から充当するものでございます。残が 2,365 万円ございましたので今回の補正を充当することによって残り 2,287 万 3,000 円が留保財源となります。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしくご審議をお願いいたします。

○議長（山本浩平君） ただ今提出者からの説明がございました。

この件に関して何かお尋ねしたいことがございましたらどうぞ。

2 番、吉田和子議員。

○2番（吉田和子君）　　ここで質問していいかどうか迷ったのですが、町長の執行方針の中の報告にもありましたけれども地震もありました。そういった中でひとり暮らしの高齢者の方々が大変不安と本当にびっくりしたということと、その対応とにすごく戸惑っているときに各町内会にあるふれあいチームその方々が自分の家も被害を受けているのに声をかけに来てくれたということがものすごい力になって安心と本当に助けられたという思いが何人からもあったのです。

それで災害のほうなのですが、確かこのふれあいチームが町内ででき上がっているのが70%ぐらいだったというふうに記憶しているのですが、私はこういったことを契機に各町内会でどういった形でもいいから声かけのしっかりとした体制をつくっていくそのために町が少し経費がかかるようになったとしても、高齢化率がどんどん上がっている白老町の現状の中でひとり暮らしの人がどれだけ不安な思いをしたのに、その声かけがどれだけ温かいものでどれだけ安心感があったかということが今回私もみんなも思っていたと思うのです。こんなに大きい地震が白老はくると思っていなかったというのが実感なのです。そういった中でこれを機会にふれあいチームのさらなる結成の推進を図っていただきたいというふうにここでしか述べられませんのでお願いしたいと思います。

○議長（山本浩平君）　　畑田交通防災担当課長。

○総務課交通防災担当課長（畑田正明君）　　このたびの地震の関係の対応についての話なのですが、今吉田議員おっしゃったふれあいチームこれは私どもの部署ではないものですから何ともいえないのですが、うちのほうで自主防災組織これも70%以上と組織率は上がっております。そういう部分ではふれあいチームも含めて町内会もそうなのですが今回の地震については皆さん声かけをしていただいて大きな災害にもならなくてよかったというふうに思っております。自主防災組織、ふれあいチームも含めて組織づくりについては私どももこれからまた多くの町内会に新たに組織していただくように努めてまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。以上です。

○議長（山本浩平君）　　ほか何かありませんか。

7番、西田祐子議員。

○7番（西田祐子君）　　今これはこの間の地震かと思っていたのですけれども、その前の大雨だということなのですけれども、大雨の後に地震がありました。そうしましたらあそこの若草町の方々が今回の地震のことで道路が亀裂が入ってどうのこうのと。結局その前に大雨が降って町のほうで対応しました。それに対して町のほうから大雨だから地盤が緩んでこうということの説明も何もないのだけれども、今回若草町のほうが地震で被害が多かったというのはそういうことは関係しているのかしていないのか。その辺あたりも何かよくわからないのですということをおの辺の住民から聞くのです。確かに線路から向こう側のほうはすごく地震の被害が多かったのだけど、その前の大雨のときは一体どういう状況でどうだったのか。今回の消防のほうでやった対応のこと。それがきちんとされていて、ポロトの洪水は洪水、地震は地震、全く関係ありませんという状況なのかどうなのかその辺だけちょっと確認させてください。

○議長（山本浩平君）　　岩崎建設課長。

○建設課長（岩崎勉君）　　大雨と地震の因果関係という形なのですけれども、大雨のところはあそこは昔から湿地帯のようなところだったのでそれでの影響が出てきたのではないかと。雨が降っ

て軟弱になったから地震でそこが割れたという因果関係はないとこちらでは思っております。

鉄道より山側についてはやっぱり地盤が悪いということで被害が多かったというのが現状であります。それと同じような形で若草のところも被害があったのではないかというふうに思っております。

○議長（山本浩平君）　ほか、ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君）　それでは報告第1号はこれをもって報告済みといたします。